

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 日邦産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 9913

 URL <http://www.nip.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 大塚 眞治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CSR統括部長

(氏名) 三上 仙智

TEL 0587-98-1227

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	32,656	1.6	263	△69.9	581	△32.8	334	△13.9
25年3月期第3四半期	32,146	5.6	876	100.3	864	168.0	387	31.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,012百万円 (105.6%) 25年3月期第3四半期 492百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	37.59	—
25年3月期第3四半期	43.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	27,549	10,296	37.1
25年3月期	24,184	9,417	38.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 10,232百万円 25年3月期 9,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	3.7	500	△41.5	550	△47.3	350	△40.9	39.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	9,127,338 株	25年3月期	9,127,338 株
26年3月期3Q	240,333 株	25年3月期	240,253 株
26年3月期3Q	8,887,046 株	25年3月期3Q	8,887,163 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定日等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の日本経済を取り巻く環境は、安倍政権が推進する「アベノミクス」の効果により個人消費が増加し、また円安により輸出型企業の業績改善が進みました。米国においても、底堅い民需に支えられ緩やかな回復が進みましたが、中国をはじめとする新興国経済の減速もあり、先行きが不透明な中で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは向こう3年を見据えた試作・量産技術の開発と、中国からの生産シフトに対応する受け皿づくりをアセアン各所で進めて参りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は32,656百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は263百万円（前年同期比69.9%減）、経常利益は581百万円（前年同期比32.8%減）、四半期純利益は334百万円（前年同期比13.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

当社グループは、高い品質管理能力とスピードある意思決定を実践することを目的とし、平成25年4月1日付で組織変更を行いました。これに伴い当第1四半期連結会計期間より一部事業の帰属セグメントを変更しております。

なお、前年同四半期比較にあたっては、前年同四半期連結累計期間分を変更後のセグメントに組み替えて行っております。

・モビリティ

自動車メーカー及び自動車部品メーカーに対して、電子制御関連部品を核とした樹脂成形品及び同組立品を国内外で製造・販売しております。

当該事業の業績は、タイを中心としたアセアン諸国の力強い需要に支えられましたが、国内における試作・量産技術に関する先行投資の影響をカバーするに至りませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は9,362百万円（前年同期比17.6%増）、セグメント利益340百万円（前年同期比6.5%減）となりました。

・エレクトロニクス

電子部品及びクリーンエネルギー関連のメーカーに対して、専門商社として高機能材料、部品、治具及び機器等を国内外で販売しております。

当該事業の業績は、スマートフォンとタブレット型端末、また燃料電池の需要に支えられましたが、主要顧客である半導体メーカーの一部事業終息もあり、営業費用を収益でカバーするに至りませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は13,997百万円（前年同期比5.8%増）、セグメント損失は57百万円（前年同期は31百万円のセグメント利益）となりました。

・精密機器

オフィスオートメーション、デジタルイメージング、医療機器等の関連メーカーに対して、樹脂成形品の製造及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、主要顧客の生産地の変更に伴う影響を受け、営業費用を収益でカバーするに至りませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高5,958百万円（前年同期比16.7%減）、セグメント利益は117百万円（前年同期比71.2%減）となりました。

・住宅設備

住宅設備の関連メーカーに対して、専門商社として、またファブレスメーカーとして、樹脂成形品、ブラインド・介護用ベッドのコントロールユニット、高機能材料並びに機器等を国内外で販売しております。

当該事業の業績は、高効率給湯器向けの樹脂成形品・配管部品、建築材料並びに、燃料電池の関連部材の販売は堅調に推移しましたが、自社企画商品の開発に伴う営業費用を収益でカバーするに至りませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は2,689百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント損失は20百万円（前年同期は95百万円のセグメント利益）となりました。

・その他

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID事業等を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は1,667百万円（前年同期比13.0%減）、セグメント損失は71百万円（前年同期は21百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,242百万円増加し15,454百万円となりました。これは現金及び預金が1,576百万円増加したことに加え、電子記録債権が427百万円増加したことなどが主な要因となっております。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,122百万円増加し12,095百万円となりました。これは、有形固定資産が904百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて3,365百万円増加し27,549百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2,333百万円増加し13,632百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が2,301百万円増加したことに加え、短期借入金が640百万円増加したことなどが主な要因となっております。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて153百万円増加し3,620百万円となりました。これは長期借入金が168百万円減少したものの長期リース債務が199百万円、繰延税金負債が96百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて2,486百万円増加し17,253百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて878百万円増加し10,296百万円となりました。これは為替換算調整勘定が558百万円増加したことに加え、利益剰余金が200百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.6ポイント減少の37.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済は、米国の景気回復が予想される一方、新興国経済が減速することが懸念されています。さらには、アセアン市場を牽引するタイ国の政情不安等もあり、先行き不透明な中で推移することが予想されます。

当社においては、主要顧客の生産地変更並びに、生産計画の変更による収益影響のすべてを、当会計年度内にリカバリーすることは難しいと予想し、平成25年11月5日付公表の通期連結業績予想を現時点では据え置くことと致しました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,032,874	5,608,937
受取手形及び売掛金	7,241,026	7,121,351
電子記録債権	—	427,897
商品及び製品	999,851	1,294,464
仕掛品	204,540	244,684
原材料及び貯蔵品	369,528	355,783
繰延税金資産	32,057	31,926
未収入金	247,319	219,482
その他	105,641	169,391
貸倒引当金	△21,681	△19,908
流動資産合計	13,211,158	15,454,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,523,820	7,303,934
減価償却累計額	△2,354,193	△2,792,512
建物及び構築物(純額)	4,169,626	4,511,422
機械装置及び運搬具	5,637,117	6,287,208
減価償却累計額	△3,603,310	△4,223,782
機械装置及び運搬具(純額)	2,033,807	2,063,425
工具、器具及び備品	661,185	754,495
減価償却累計額	△428,014	△491,486
工具、器具及び備品(純額)	233,171	263,009
土地	1,321,323	1,379,486
建設仮勘定	90,136	535,506
有形固定資産合計	7,848,064	8,752,850
無形固定資産	163,677	152,968
投資その他の資産		
投資有価証券	709,797	886,054
関係会社株式	1,023,628	1,207,604
繰延税金資産	135,254	84,930
その他	1,205,333	1,058,757
貸倒引当金	△112,735	△47,750
投資その他の資産合計	2,961,279	3,189,596
固定資産合計	10,973,020	12,095,416
資産合計	24,184,178	27,549,426

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,144,230	8,445,981
短期借入金	2,498,800	3,139,700
1年内返済予定の長期借入金	797,155	570,608
1年内償還予定の社債	130,000	80,000
リース債務	360,441	206,556
未払法人税等	123,503	46,854
賞与引当金	182,962	154,677
その他	1,061,845	988,102
流動負債合計	11,298,939	13,632,480
固定負債		
社債	30,000	15,000
長期借入金	2,079,491	1,911,327
リース債務	78,626	277,986
繰延税金負債	272,451	368,906
再評価に係る繰延税金負債	2,913	2,913
退職給付引当金	656,563	721,479
環境対策引当金	9,850	9,850
資産除去債務	51,442	58,493
負ののれん	8,109	2,454
その他	278,421	252,481
固定負債合計	3,467,872	3,620,893
負債合計	14,766,812	17,253,373
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,137,754	3,137,754
資本剰余金	2,343,068	2,343,068
利益剰余金	4,543,466	4,744,175
自己株式	△155,296	△155,337
株主資本合計	9,868,992	10,069,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,271	206,430
土地再評価差額金	5,273	5,273
為替換算調整勘定	△607,762	△49,114
その他の包括利益累計額合計	△515,217	162,589
少数株主持分	63,591	63,803
純資産合計	9,417,366	10,296,052
負債純資産合計	24,184,178	27,549,426

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	32,146,226	32,656,692
売上原価	27,968,433	28,893,467
売上総利益	4,177,792	3,763,224
販売費及び一般管理費	3,301,734	3,499,512
営業利益	876,058	263,712
営業外収益		
受取利息	10,895	11,903
受取配当金	9,483	9,109
仕入割引	18,369	8,482
持分法による投資利益	—	73,761
スクラップ売却益	23,898	30,151
為替差益	48,418	269,753
その他	20,373	45,513
営業外収益合計	131,438	448,677
営業外費用		
支払利息	102,612	111,782
持分法による投資損失	33,029	—
その他	7,158	19,207
営業外費用合計	142,800	130,989
経常利益	864,696	581,400
特別利益		
固定資産売却益	9,169	28,023
特別利益合計	9,169	28,023
特別損失		
固定資産処分損	12,792	7,760
投資有価証券評価損	114,585	—
減損損失	—	7,045
特別損失合計	127,377	14,805
税金等調整前四半期純利益	746,489	594,617
法人税、住民税及び事業税	131,981	163,706
法人税等調整額	214,277	96,723
法人税等合計	346,258	260,430
少数株主損益調整前四半期純利益	400,230	334,187
少数株主利益	12,389	147
四半期純利益	387,840	334,040

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	400,230	334,187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,875	119,158
為替換算調整勘定	40,293	447,621
持分法適用会社に対する持分相当額	5,733	111,090
その他の包括利益合計	91,902	677,870
四半期包括利益	492,133	1,012,058
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	478,744	1,011,846
少数株主に係る四半期包括利益	13,388	211

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	7,740,609	13,229,730	6,688,342	2,582,738	30,241,421	1,904,804	32,146,226	—	32,146,226
セグメント間の内部 売上高又は振替高	217,718	—	468,309	—	686,028	11,350	697,378	△697,378	—
計	7,958,327	13,229,730	7,156,652	2,582,738	30,927,449	1,916,154	32,843,604	△697,378	32,146,226
セグメント利益	364,133	31,048	408,342	95,834	899,359	21,054	920,413	△44,354	876,058

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID事業等を含んでおり
ます。

2. セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,065,112	13,997,524	5,280,586	2,689,974	31,033,197	1,623,494	32,656,692	—	32,656,692
セグメント間の内部 売上高又は振替高	297,157	—	678,187	—	975,344	44,255	1,019,600	△1,019,600	—
計	9,362,269	13,997,524	5,958,774	2,689,974	32,008,542	1,667,750	33,676,293	△1,019,600	32,656,692
セグメント利益又は セグメント損失(△)	340,529	△57,254	117,422	△20,210	380,486	△71,457	309,029	△45,316	263,712

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅲ 報告セグメントの変更等に関する事項

セグメント区分の変更

当社グループは平成25年4月1日付で組織変更を行いました。これに伴い一部事業の帰属セグメントを変更しております。

従来、その他に含めていた工業部品事業の帰属先を類似するエレクトロニクス事業へ変更しております。

以上のセグメント区分の変更により、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。